

TIC NEWS

vol. **69**
2003.10

(財)とやま国際センター
〒930-0856 富山市牛島新町5-5
インテック・タワー111 4F
TEL(076)444-2500
FAX(076)444-2600
E-mail:tic@tic-toyama.or.jp
URL:http://www.tic-toyama.or.jp



新しい友情 価値観との出会い ～とやま国際塾～

今年2回目になる「とやま国際塾」8月3日～4日、県内中・高校生45名、教員8名、11ヶ国からの外国人26名をはじめとした総勢91名が立山に集い、国際理解・協力コース、留学実践コース、総合学習コースの3コースに分かれワークショップなどを通し交流を楽しみました。さまざまな国籍の人との新しい出会い、新しい価値観の発見があった有意義な2日間となりました。

JICA青年招へい事業 地方プログラム in 富山

9月9日、中国各地から青年25人が「市場経済の現状」、「行政機能と民間セクターの活動の関連を知る」などの研修目的で来富されました。研修視察先では活発な質疑応答が行われました。また、富山の大自然を十分に堪能した8日間の滞在でした。

9月9日
大永県副知事表敬、歓迎会

県庁大会議室での副知事表敬。最初は緊張した面持ちだった青年たちも次々に質問を始めました。次に富山県商工企画課吉川副主幹から富山の産業経済について説明がありました。歓迎会では青年たちから中国の歌の披露がありました。



大永副知事と記念品交換をする何団長



歓迎会で中国の歌を披露

9月10日
YKK(株) TIC日本語学校

ファスナー生産日本一、アルミサッシの生産も国内シェア2位を誇る富山県を代表する企業YKK(株)、世界60ヶ国に進出しているYKK(株)では、川原総務グループ長から中国進出などの話がありました。TIC日本語学校では中国出身の生徒との和気あいあいとした懇談会が行われました。



YKK(株)視察



TIC日本語学校で生徒と懇談

9月11日
(財)富山県新世紀産業機構
福光町長表敬、松村謙三記念館

創造的中小企業創出支援事業、企業のインターネット活用等をはじめとする技術援助を行っている富山県新世紀産業機構を視察。紹興市と友好提携をしている福光町に表敬。また日中友好に多大な足跡を残された松村謙三の業績をたどりました。



積極的に質問する潘さん



松村謙三記念館にて

9月12日
富山県栽培漁業センター
氷見市長表敬、三芝硝材(株)

「作り、育てて獲る漁業」という栽培漁業を目指す栽培漁業センターを見学。氷見市立博物館では越中式定置網を学び、フィッシャーメンズワープでは富山湾の様々な魚介類を堪能。板ガラスの加工販売を行い、中国進出を予定している三芝硝材(株)では最新設備を誇る工場を見学しました。



富山県栽培漁業センター



三芝硝材工場見学

9月13日～14日
ホームステイ、交流の夕べ

訪日の目的は「日本人と交流を深めること」という青年が多いなか、ホームステイは間違いなく大きな思い出となりました。「子供が本当の父親のようになついていた」という王さんを受け入れた勝山さんご家族。梁さんは澤井さん一家からお土産にももらった浴衣で登場。交流の夕べでは、みんなで越中おわらを歌い踊るといふ思いがけないハプニングがありました。



9月15日
立山観光

富山の代表的な風景、立山。天候が心配されましたが、頂上に行って見ると晴れ渡った視界の中に雄大な立山の風景が待ち受けていました。立山玉殿の湧水を飲むなど大自然を堪能。日程の最後を飾るに相応しい1日となりました。



日本語習います！教えます！

9月から始まった初級日本語講座、日本語ボランティア養成講座ステップアップ編についてご報告します！

初級 日本語講座

「郵便局を利用する」、「電話を利用する」など、場面ごとの生活日本語を学ぶ初級日本語講座が9月9日より開講しました。

初回9月9日は自己紹介、挨拶の練習から始まりました。「大学に行きたいから」、「職場で日本語が必要」などの理由で参加された皆さん。教室では様々な質問が飛び交い、真剣そのものの皆さんでした。



受講者募集中！

日 時：毎週火曜日 18:30 - 20:00 (平成16年3月9日(火)まで1年未年始、1月6日、13日を除く) 全22回
場 所：富山県国際交流センター(インテック明治生命ビル4階) 研修室A
受講料：1回 300円

日本語ボランティア養成講座ステップアップ編

生きた日本語を教える人材の育成を目指す日本語ボランティア養成講座。6月からの入門編では、生活の中の日本語を教える“行動シラバス(教授項目)”の基礎の習得、日本語で直接教える直接法をアラビア語で体験してみるなど、趣向を凝らした授業が行われました。

9月からのステップアップ編では、行動シラバスについてさらに理解を深め、実際に模擬授業も行います。

講師の中河和子さんは「同じ地域市民として、外国人と末永くつきあっていける交流ボランティアの育成を目指しています。日本語を教えるだけでなく、教室を越えた繋がりが広がっていけば何よりです。」と抱負を語られました。



講師 中河 和子氏



在住外国人を交えたワークショップ

新CIR(国際交流員)の紹介！

富山県の皆様、はじめまして、アダム・ビゲローです。8月に富山にやってきました。出身はオレゴン州です。アメリカ西海岸のちょうど真ん中の辺りで、暑くもなく、寒くもなく住みやすい所です。国際交流を深め、外国人が住みやすい富山をつくるために頑張ります。皆さん！街で見かけたら、是非声をかけてください。よろしくお祈いします。



ワシントン湖でお爺さんの船に乗るアダムさん

国際理解・協力コース

中・高校生と中国、韓国、モンゴル、ラオス、インドネシア、ネパール、ブラジル、アルゼンチン出身の海外技術研修員、留学生がグループに分かれワークショップをしました。

1日目

フォトランゲージと各国紹介

各国の家や家族の写真を見て、グループ毎に気づいたことを話し合い、国当てクイズをしました。

各国紹介では、出身国の自慢できるところなどを発表しました。

2日目

異文化理解ワークショップ

自分にとっての「幸せ」について意見を出し合い、それを実現するために何をしたらいいかを話し合いました。

参加者の皆さんの声

中・高校生の意見

- ・外国の習慣や文化を知り、自分自身の国のことも見つめ直すことができた。
- ・日本についてももっとPRしたかった。
- ・幸せは今の状態をありがたいと感じ、適度な向上心をもつことだと感じた。
- ・他の国の人が上手な日本語を話すのでびっくりした。
- ・教科書に載っていない話も聞くことができた。
- ・日本のことをもっと知りたい。

外国人参加者の意見

- ・日本人は恥ずかしがりやで、あまり意見を言わない人もいた。自信をもってください。
- ・日本人は物質的なものに関心が高い。
- ・日本語の勉強を頑張らなければならない。
- ・もっと自分の国を紹介したかった。
- ・友達がたくさんできました。



異文化理解ワークショップの発表



「モンゴルの良い所は星が数え切れない程たくさん見られることと、伝統的住居ゲルを使っていること」など、モンゴルについて発表するビャムバさん。

ビャムバジャルガルさん
(モンゴル海外技術研修員)



正直言って国際塾への参加は立山町に住んでいる義務感から決めたもので、当初はあまり期待していませんでした(笑)ところが行ってとても楽しいことに驚きました。留学実践コースでは色々なスタイルのプログラムが行われました。生徒とサッカーをしたのも本当に楽しかったです。立山という美しい背景をバックにとても和やかな雰囲気にも包まれた国際塾でした。

ジャスティン・アルヴェスさん
(留学実践コース講師)
*右から2人目

とやま

今年、第2回目
「とやま国際塾」ワー
活動の様子を報告

総合学習コース

事例発表

- ・富山南高校における国際理解教育
(富山南高校 角間教諭)
語学合宿や食文化交流などの活動紹介
- ・国際理解教育の実践
(魚津教育事務所 戸島指導主事)
シンガポール日本人学校での活動紹介

国際理解教育を考えるワークショップ

とやま国際理解教育研究会事務局長伊藤通子氏を講師に迎えワークショップを行いました。テーマは「現在の総合学習の問題点」で、総合学習の時間の目的や内容についてグループに分かれ意見を交わしました。総合学習の時間に使える教材や開発教育についての紹介もありました。

留学実践コース

* 授業はすべて英語で行われました。

1日目

アメリカのゲーム

Hands Shake Murder、Magic Hands、Partner Ball Gameなどアメリカのキャンプでよく行うゲームに挑戦しました。

クイズ“Jeopardy”

アメリカの長寿クイズ番組のJeopardy。スポーツ、音楽、イギリスなどの中から得意なジャンルを選びクイズに挑みました。

2日目

オーストラリアについて

オーストラリア方言クイズと伝統的ダンスに挑戦しました。

実践 海外体験

海外旅行、留学などの体験の中で起こりうる状況をグループに分かれロールプレイしました。

参加者の皆さんの声

- ・辞書にも載っていない珍しい単語を勉強できた。
- ・より一層外国へ行きたいという気持ちが強まった。
- ・オーストラリアに研修に行くので、習ったダンスと方言を試したい。
- ・ゲームで焦ったとき思わず日本語をしゃべっていた。
- ・完璧な英語じゃなくても頑張っ使いたい。
- ・英語でロールプレイをした後はとても達成感があった。
- ・クイズでチームがチャンピオンになった。協力する過程で仲間といっそう仲良くなった。
- ・ペラペラに話せる仲間をみて触発された。
- ・チンプンカンプンだったけど、楽しかった。



野外でのボールゲーム



“ロールプレイ” 恥ずかしがってる場合じゃない！

国際塾

の開催となる「とクショップ、交流します！」



きれいな立山を眺めながら楽しく、英語の勉強ができました。生徒はみんなよく頑張り、私もとても楽しかったです。参加した人みんなに感謝したいです。ありがとうございました。

ロバート・ハーシェルさん

(留学実践コース講師)

参加者の皆さんの声

- ・たくさんの外国人をはじめとした新しい人との出会いがあってよかった。
- ・日本文化について外国の人に紹介したかった。
- ・自分の学校の「国際理解」の授業をより良いものにしたい。
- ・自分は小学校教諭なので高校のやり方などがわかってよかった。
- ・開発教育について興味があったのでよかった。
- ・他の先生の意欲的な姿に刺激された。
- ・日々の雑務に追われがちだが、目標を目指して頑張りたい。
- ・会議などとは違って平等に意見を言えるワークショップの良さを知った。
- ・引き続きいろいろな国の人と交流したい。

総合学習の時間はどうしたら魅力的になる？



TIC国際協力出前講座 in 高岡市立高岡西部中学校！

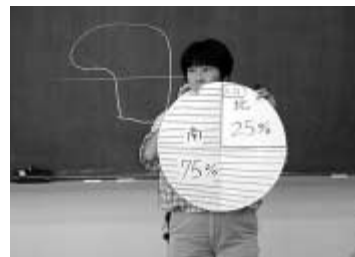
4月から始まったTIC国際協力出前講座。学校、市町村などからの依頼に応え、国際協力に関する様々なテーマの出前講座を行ってきました。今回は7月28日に“ 私達の暮らしと開発途上国の暮らしを考える ” というテーマで行った講座の様子をご報告します。

1st Stage

朝比奈さんのガーナでの青年海外協力隊活動体験と帰国後のNGO活動について、スライドを見ながら現地での活動や生活の様子を聞きました。

2nd Stage

南北格差を体験するケーキのアクティビティ。丸いパームクーヘンを3：1に分け、小さいかけらを8人の方、大きい方は2人の方に分配。8人のグループからは不平の声が。大きい方をもらった2人も喜びつつも申し訳なさそうな表情。朝比奈さんから、「これが途上国と先進国の違いです。世界の人口の約8割を占める途上



講師の朝比奈裕子氏（AJA FOUNDATION 代表、とやま国際理解教育研究会代表）



国の人々は日々生活するのに満足な食事も得られま

せんが、かたや先進国の人々は必要以上の食料を手にしなが、無駄に残したり捨てたりしていることが多いのです。」と教えられた途端にみんなの表情が変わりました。

3rd Stage

本日のメインイベント、“バナナのワークショップ”。私たち日本人が食べるバナナの約80%が作られているフィリピンのミンダナオ島の農園で働く家族の生活を書いた資料を読みました。問題点を挙げ、その中から、今私たちにできることを1つのプロジェクトに作り上げました。現地の様子を広く知ってもらうために「バナナ・ホームページ」を作ろうというプロジェクト案も出ました。

生徒の皆さんから寄せられた感想

もっと世界のいろいろな所をよく知らなければいけない。

“ Think Globally, Act Locally”(考えるのは世界規模から、行動するのは地域から)の意味を深く考えたい。

このワークショップで目の前に途上国の人がいるように感じられ、他人ごとではないなと思った。

市町村、地域の国際交流協会、各種団体、小・中・高校の担当者の皆さん、一度出前講座を実施しませんか。出前講座にかかる講師料、旅費は当センターが負担します。メニュー等、詳細は<http://www.tic-toyama.or.jp/>をご覧ください！



JICAシニア海外ボランティア現地レポート

今回はマレーシアから届いた東田 繁さん（新湊市出身）からのお便りをご紹介します。

隊員活動と日常生活あれこれ

ジョホール州経済企画局の一員として、中小企業の発展のために、特に電子部品産業のアドバイスをしています。

マレーシアには、60%のマレー人、30%の中国人、10%のインド人やその他の人種が住んでいます。このため、生活にも様々な宗教色が表れています。料理の種類も様々です。マレー料理といえば、鶏肉と魚を中心とした煮物・揚げ物料理と、お米や麺類が中心となります。中国料理は、広東、上海、客家、北京料理などがあります。インド料理はカレー中心です。でも自分の好きな料理は、やはり日本料理です。

言葉に対する壁から、日本語のテレビを見たいというホームシックにかかったり、年中暑いマレーシアにいると日本の四季が懐かしくなったりしましたが、大きな病気にかかったこともなく自然体で生活しています。

マレーシアの人々は、東京や大阪など大都会の名前は知っていますが、富山については全く知りません。富山を紹介するときは、海や山の幸に恵まれた田舎だと言っています。日本を離れて富山を振り返ってみて、改めて、すばらしい自然と食に恵まれたところだと誇りをもって紹介しています。



東田 繁さん（写真中央）
派遣国：マレーシア
職種：金型設計
派遣期間：平成14年4月～平成16年4月
住友金属鉱山(株)から現職参加

とやま名誉大使からの便り

クリス・スティー爾さん

平成11～13年 語学指導助手
所属：大門高校
出身国：カナダ

近況について

ニュージーランドのオタゴ大学大学院で心理学を専攻し、意識的、無意識的な意思決定について研究をしています。

最近、スキューバダイビング愛好者のためのホームページを作りました。しばらく休日返上で取り組んだホームページです。ダイバーが連絡をとりあい、ダイビング経験を分かち合えるページとなっているので、よかったです。

<http://www.myDiveBook.com>

富山に対する感想

富山を愛しています。富山には感動させられます。私はまだ富山のたくさんの人と連絡をとっています。



張 茵さん

平成12年度 海外技術研修員
受入先：県環境科学センター
出身国：中国



現在の仕事について

遼寧省葫蘆島市環境観測センターでシニアエンジニアとして総合分析などをおこなっています。

近況について

昨年葫蘆島市に大きな変化がありました。市は昨今の開放政策の一環として旅行事業の発展に力を入れており、九門口長城と興城古城のあたりの補修や再建が行われました。百聞は一聞に如かず、是非おいでください。

富山に対する感想

富山は景色が美しく、気候も良く、旅行などに最適です。3,000メートルの立山連峰が人を魅了し、帰るのを忘れさせます。

今後も機会がありましたら桜の咲く季節に富山へもう一度行きたいです。

アパリン・セルゲイさん

平成7～13年
所属：富山空港内
ウラジオストク空港事務所
出身国：ロシア

現在の仕事について

ウラジオストク空港サハリンプロジェクト広報部長として働いています。

近況について

最も記憶に残っているのは小泉首相の歴史的な極東、ハバロフスク市の訪問です。代表団訪問中は気温-25という寒さでした。これらの訪問の結果、極東ロシアと日本の関係がより発展することを期待しています。

富山に対する感想

富山と離れることは私にとっては大変つらいことでした。ひな祭りパーティーで日本の友人と歌ったり踊ったりしたことで、別々の国に住む人同士の友情、特別な心情を感じることができました。



ひな祭りパーティーで中沖県知事と右がアパリンさん

南インド出身
アキラ・タミザベルさん
お薦め料理!

チャンナ・マサラ (ヒヨコ豆のカレー)

ヒヨコ豆はインドでよく食べられる豆で、その7割がインドで生産されています。スパイスの混ぜ合わせ方は各家庭で異なり、それがまさにインドの「おふくろの味」! ご飯と食べるのが南インド風です。



~作り方~

1. みじん切りしたしょうが、にんにくを油で炒める。
2. みじん切りした玉ねぎを茶色になるまで炒め、細かく切ったマトを加え水分がなくなるまで煮詰める。
3. マサラパウダーと塩ゆでしたヒヨコ豆を加える。
4. ココナッツミルクと塩で味を調べ、火を消し、レモン果汁を加える。



~材料~ (4人分)

- ヒヨコ豆 (8時間程度水に浸したものに塩を入れ圧力鍋で10分煮た物) 2カップ
- 玉葱.....小2個
- トマト.....小さめ2個
- マサラパウダー (クミン、ターメリック、カルダモン、クローブ、コリアンダー、シナモン)小さじ2
- ココナッツミルク100ml
- レモン果汁.....小さじ2

TICからのお知らせ

これからの行事予定

イングリッシュ・アドベンチャー

10月1日(水)~ 2月18日(水) 第1、第3水曜日(全10回)
17:00~18:30 *10月第1・4、12月は第2・3水曜日
当センター 研修室A
高校生を対象にした英会話講座。アメリカの文化も体験。

国際交流フェスティバル2003

10月11日(土) 12日(日) 富山市民プラザ 大手町モール
外国人カラオケ大会、アンデス民謡バンド“WAYNO”
の演奏、カザフ民族舞踊カラジオルハーなど

国際協力富山県民シンポジウム

国際協力について考える座談会、特別映画上映会
「神の子たち」
10月11日(土) 17:30~20:00
富山市民プラザ4階 アンサンブルホール

韓国大学生富山訪問

11月8日(土)~11月10日(月)

*ホームステイ受入家庭を募集しています!

平成15年度富山県民海外派遣事業「県民の翼」報告展

11月下旬~12月 富山県国際交流センター
企画展示コーナー

ライブラリー新着情報!

留学関係

2004年度版カナダ留学事典
2004年度版イギリス留学事典
2004年度版アメリカ留学
公式ガイドブック

日本語教材

スペイン語圏の人のための
日本語教材

国際協力・異文化理解

新・貿易ゲーム

地球の仲間たち フォトランゲージ22ヶ国セット
たずねてみようカレーの世界~スパイスと食文化の多様性
世界がもし100人の村だったら ワークショップ版
参加型学習で世界を感じる~開発教育実践ハンドブック
世界の子どもたち NGOの現場から
イエティを探せ~はじめて手にする世界地図
今がわかる時代がわかる世界地図
国際理解ハンドブック フィリピンと出会おう
小学校英語の授業プラン 作って調べる地球環境
テーマで学ぶ英語と国際理解
地球人記、地球生活記、食べ物記
*総合学習の時間などにお役立てください!



(財)とやま国際センター賛助会員募集中!

当センターの国際交流・協力事業にご支援いただけるようお願いします。

年会費(1口) 個人会員 3,000円
団体会員 30,000円

各国の国旗貸し出します!

88ヶ国の国旗、卓上旗、万国旗をお貸しします。お申し込みはホームページからも受け付けます!

<http://www.tic-toyama.or.jp/>